

第4回 FSPインタビュー

梅林亭

×

日比 博子

店主

旧・本巣郡南町（現在は瑞穂市）生まれ。高校卒業後、結婚を機に養老町へ。当時から店頭立ち、観光シーズンにはひっきりなしに訪れる観光客の多さに驚いた。社会が移り変わっていくなかで、「損得ばかり考えてられない。自分の店だけでなく、養老公園全体が盛り上がればいい」と話す。



養老孝子坂の顔として。

Q、養老孝子坂の顔として、ずっと観光客を見守られてきたんですね。
「いつてらっしゃい」と「おつかれさま」「ありがと」など、声をかけを欠かさないうようにしています。もともとおしゃべりが好きなので、いつもお客さんとの会話を楽しませてもらっています。
その一方で、お客さんから滝やイベントのことを聞かれた時、「知らない」では通用しませんので、ちゃんと把握しておいて、ご案内できるように努めています。

Q、今回は養老孝子坂※の玄関口、梅林亭さんです。
よろしくお願ひします。
当店は養老孝子坂の一番手前にあります。養老の滝を見に来られた観光客の皆さんとは、最初にお会いすることになります（笑）
昔、このあたりが梅林だったことから、先代が「梅林亭」と命名しました。梅林亭としてはもうすぐで百年になります。少し前まではお食事も提供していましたが、今は特産品やお土産を扱っています。中でも梅干しはリピーターが多いです。



※養老の滝入口駐車場から養老の滝に続く坂道。飲食店や土産物店が並ぶ

FSP(フレンドシップパートナー)って?
養老町公式ファンクラブである『YORO SUPPORTER WORLD』に入会した会員と一緒に養老町を盛りあげていくお店や企業です。FSP登録店舗で会員証を提示するとお得にお買物や飲食が楽しめます。YSW公式HPにて登録店舗を紹介しています。
<https://www.town.yoro.gifu.jp/docs/2022031700023/>

Q、とっても心あたたまるエピソードですね。
こうして、お客さんとあたたかい関係になれるのも養老の魅力だと思

Q、長年この場所で観光客を迎えてみますが、嬉しかった瞬間を教えてください。
やっぱり、日々のお客さんと会話する時ですね。
いろんな人がみえますが、会話が弾むところも楽しくなりますし、お客さんから「また来たよ!」とか、「この前買った梅干しおいしかった!」と言ってもらえると本当に嬉しくなります。
つい先日、若い男女のお客さんがみえた時、とても気さくに話していただいたので私も嬉しくって、少しおまけさせてもらいました（笑）
帰り際にも車から手を振り返してくれて、ちょっとした会話やおもてなしがお互いを楽しい気持ちにさせるんだなと思いました。
何年前から、尾張小牧から毎月バイクで越しにいられている男性がみえたんですが、この前3カ月ぶりにお会いして、「お兄さん元気だった?」「おばさんも元気だった?」とお互いに「心配していたよ」と声をかけ合って喜びました。

梅林亭

住 養老郡養老町養老公園1274-1

☎ 0584-32-0575

SUPPORTER特典

1,000円以上の土産品購入で

粗品プレゼント

※内容は取材当時のものです。



ひょうたんからお酒まで
いろいろなお土産があります♪

ます。
コロナ禍の影響もあって、だんだんと人の触れ合いも少なくなってしまうかもしれませんが、いつまでも皆さんとのつながりを大切にしたいです。
Q、SUPPORTERの皆さんに一言お願いします。